

CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	CBRE GI 広島	階数	地上4F
建設地	広島県広島市安佐南区伴南2丁目8005-121他	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	290 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年3月9日
敷地面積	36,397 m ²	作成者	株式会社 安藤・間一級建築士事務所 室田 武志
建築面積	13,983 m ²	確認日	2020年3月9日
延床面積	53,549 m ²	確認者	株式会社 安藤・間一級建築士事務所 室田 武志



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 76%
③上記+②以外の 76%
④上記+ 76%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 3.0	スコア = 3.3
設計の計画に特段に配慮した事項 // BEI=0.56を達成している // 3種類のリサイクル材を使用している 躯体と仕上げ材が分別可能なように計画している OAフロアを採用している / ライフサイクルCO ₂ 排出率75%を達成している	設計の計画に特段に配慮した事項 /	設計の計画に特段に配慮した事項 配管の主要な用途上位3種の2種以上にB以上を使用し、Eは不使用 / 空調配管: 天井スペースを確保し構造部材、仕上げ材を痛めることなく更新・修繕ができる 電気配線・通信配線: 構造部材、仕上げ材を痛めることなく更新・修繕ができる。OAフロア採用等

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される